



## 第104回全国高校野球選手権青森大会

チーム	試合数	打数	安打	長打			打率	打点	三振	四死球	犠打飛	盗塁	失策	併殺	残塁	総得点	総失点
				本	三	二											
八学光星	3	74	20	2	0	5	.270	17	11	17	12	2	1	0	19	17	6
弘学聖愛	3	102	27	5	0	8	.265	21	18	14	3	12	3	1	23	24	11

### 部員力を結集して臨む

八学光星・仲井宗基監督 今大会は緩急や投球術に翻弄（ほんろう）され、データ班の力を結果に変えられていない。自分たちの力を出し切れるよう、170人を超える部員の力を結集して臨む。

### 最少失点で勝機見いだす

八学光星・洗平歩人主将 攻撃、守備とも一戦ごとに調子は上向き。弘学聖愛とは昨秋以降、公式戦未対戦。甲子園経験者もいて侮れないが打線は好機を着実に生かし、投手は最少失点に抑えて、勝機を見いだす。

### しっかり相手を研究する

弘学聖愛・原田一範監督 選手たちにパワーは付いてきているので、あとはバットコントロールを上げられるように仕上げていきたい。準々決勝の内容を振り返り、しっかり相手を研究した上で試合に臨む。

### 全員で1点を取りに行く

弘学聖愛・丸岡昂太郎主将 全員が良い表情で戦えている。昨夏と比べれば打力は劣るが、その分、工夫や積極性を意識している。チャンスで凡退が多いので、得点機をもののできるよう、全員で1点を取りに行く。

### 準決勝第2試合

## 光星打線の調子上向き 聖愛経験豊富な2右腕

昨夏は準々決勝で対戦し、勝った弘学聖愛がその勢いで優勝したが、昨秋、今春は公式戦未対戦。八学光星打線が聖愛投手

陣をどう攻め崩すかが見どころだ。今夏の八学光星は打線が一戦ごとに調子を上げており、上位

強入りした。葛西倅生、津川凱の右腕2枚看板が実戦経験豊富。打線は長打力、機動力、粘り強さも備える。

に当たりが出れば勢いづきそう。投手は洗平歩人ら6人を展開に応じて起用。先発には試合をつくるのが求められる。

弘学聖愛は昨夏の甲子園経験者が多く、今春の東北大会は4